

避難場所や消火栓の位置を確認



このマニュアルは、家族の目に付きやすい場所に置いておきましょう

保存版

東海岸南4丁目 防災行動マニュアル

だいじしん い のこ ちいき たす あ かつどう
～大地震から生き残るための地域の助け合い活動～

ひがしかいがんみなみ ちょうめ ぼうさい こころえ かじょう 東海岸南4丁目防災の心得 5箇条

- おおつなみけいほう つなみけいほう とき ひなん
大津波警報・津波警報の時は、すぐ避難
- ひなん とき お
避難の時は、ブレーカーを落とす
- しんど じゃくいじょう とき あんび じょうきょう くみちょう ほうごく
くみちょう りじ ほうごく
**震度5弱以上の時は、安否の状況を組長に報告
組長は理事に報告**
- かさい け
火災はすぐ消す、みんなで消す
- かさい に さき こういきひなんばしょ
つなみ に さき つなみいちじひなんばしょ
**火災から逃げる先は、広域避難場所
⇒野球場、ゴルフ場**
**津波から逃げる先は、津波一時避難場所
⇒小学校、中学校、ネオ・サミット、ヴェレーナグラン**

普段からの備え

- 大型家具・電化製品の固定化
- 非常持ち出し品の準備
- 避難場所、家から避難場所へ行き方の確認
- 家族と、避難場所や連絡方法を決めておく
- 消火器の準備・有効期限の確認



大地震発生時の行動フロー

地震発生

身の安全

落下物や家具家屋の転倒で、下敷きにならないように、机の下などに避難して揺れが収まるまで待機



情報収集

- ・津波や地震の情報収集(市防災無線、テレビ、携帯電話)
⇒大津波警報、津波警報発令時は
すぐに避難して津波一時避難場所へ
- ・火災発生状況などの確認



消化活動

- ・家の中の出火は、火が天井に届くまでは、消火器で初期消火
- ・初期消火できなかった(火が天井に届いた)場合は119番に通報
- ・119番がつながらない、電柱などの転倒で
消防車の進入ができない場合は、
移動式ホース格納箱を使い
消火栓から放水活動(安全優先)



救助活動

- ・火災が発生している家屋がないか ⇒ あれば直ちに消火
- ・転倒した家屋に取り残された人がいないか大声で確認
- ・相互に近隣各戸に声をかけて安否の確認
- ・救出に必要なバールやジャッキなどの資材は防災倉庫



安否確認

- ・震度5弱以上の場合は、自分と家族の負傷の有無の状況を組長に報告(負傷が全くない場合もその旨、報告)
(組長不在の場合は、昨年度組長又は直接理事へ報告)
- ・組長は、地震発生後1時間を目処に、組内の安否確認状況を理事に報告
- ・理事は、収集した情報を防災拠点(防災倉庫)に報告



避難生活は自宅が基本

備蓄(7日間分)

避難生活は、**在宅避難** が基本

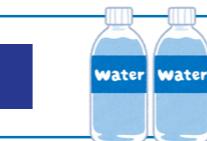
避難所の共同生活はストレスがたまる

自宅で生活するために、**1週間程度の備蓄** を準備



水、食糧、熱源(ガス) 非常備蓄必須3点セット

水



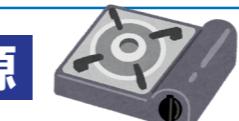
飲料水と調理用だけで
一人当たり1日3㍑は必要とされています。

食料



2kgの米袋+水+熱源があれば、約27食分になります。
(1食 = 0.5合 = 75g)
お米やパスタ、乾麺、カップラーメン、缶詰など、
普段の食品で保存しやすいものを多めに、保存。

熱源



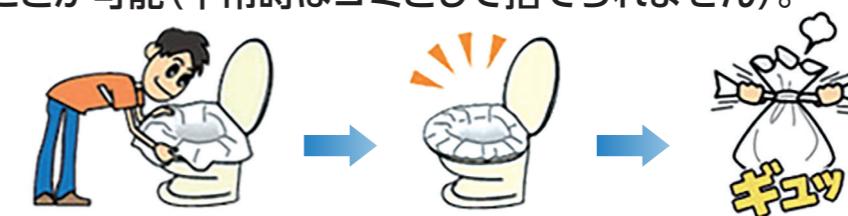
カセットコンロやバーベキュー用品などを活用。
燃料(カセットなど)の準備も。

トイレ(便袋) 震災時は、水を使わない**便袋** を活用

断水や下水道が使えず、水洗トイレは使用できない。

「汚物の入った便袋の処理方法」

便袋は、震災後にゴミ収集車が再開したら、燃えるゴミとして
捨てることが可能(平常時はゴミとして捨てられません)。



メモ欄 家族と決めた、避難場所や連絡方法などをメモしましょう。

私の家は、
_____ ブロック
_____ 組

東海岸南4丁目 HP